

# iFree NYダウ・インデックス

## 運用報告書(全体版)

### 第4期

(決算日 2020年9月7日)

(作成対象期間 2019年9月10日～2020年9月7日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型		
信託期間	無期限		
運用方針	投資成果をダウ・ジョーンズ工業株価平均(円ベース)の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	NYダウ・インデックス・マザーファンドの受益証券	
	NYダウ・インデックス・マザーファンド	イ. 米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます) ロ. 米国の企業のDR(預託証券) ハ. 米国株式の指数との連動をめざすETF(上場投資信託証券)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率		無制限
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率		
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式に投資し、投資成果をダウ・ジョーンズ工業株価平均(円ベース)の動きに連動させることをめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ダウ・ジョーンズ 工業株価平均 (円ベース)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(ベンチマーク)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
1 期末(2017年 9 月 7 日)	12,915	0	29.2	12,646	26.5	92.3	2.5	5.7	2,353
2 期末(2018年 9 月 7 日)	15,850	0	22.7	15,257	20.6	96.4	2.1	1.8	7,552
3 期末(2019年 9 月 9 日)	16,101	0	1.6	15,220	△ 0.2	97.2	1.2	1.6	12,394
4 期末(2020年 9 月 7 日)	17,102	0	6.2	15,891	4.4	95.8	1.6	2.6	18,898

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円ベース) は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を 10,000 として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

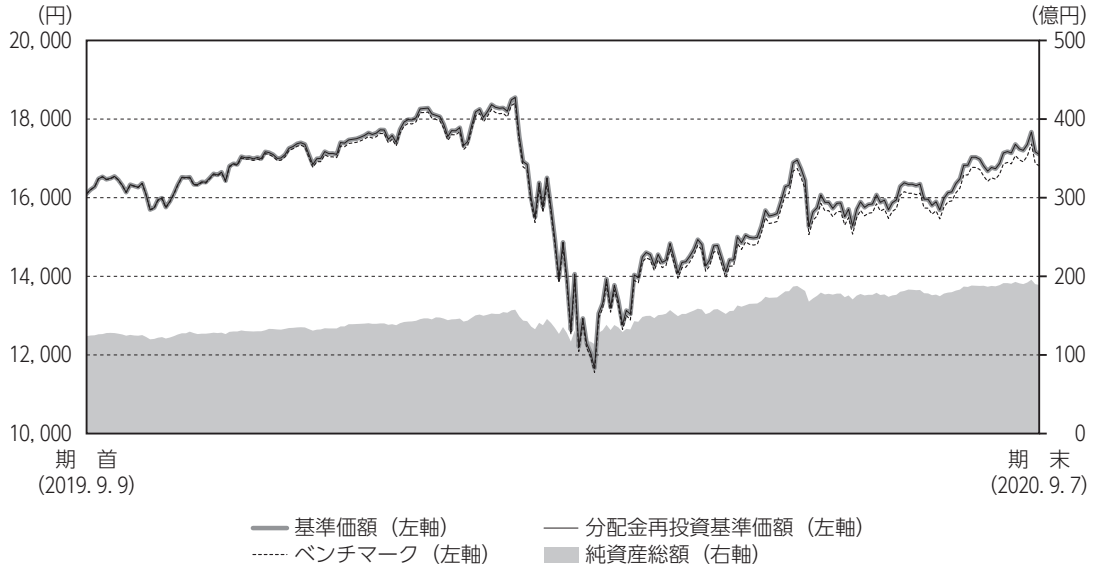
(注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (以下「当インデックス」といいます。) は S&P Dow Jones Indices LLC (「S P D J I」) の商品であり、これを利用するライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's® および S & P® は Standard & Poor's Financial Services LLC (「S & P」) の登録商標で、Dow Jones® は Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスが S P D J I に、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが大和アセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P またはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) ベンチマークは、期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* ベンチマークはダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース）です。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：16,101円

期末：17,102円（分配金0円）

騰落率：6.2%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

ベンチマーク（ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース））の動きをほぼ反映して、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		ダウ・ジョーンズ 工業株価平均 (円ベース)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率			
(期首)2019年9月9日	円	%		%	%	%	%
	16,101	—	15,220	—	97.2	1.2	1.6
9月末	16,268	1.0	15,371	1.0	97.8	0.8	1.4
10月末	16,648	3.4	15,720	3.3	96.9	1.2	1.8
11月末	17,397	8.0	16,387	7.7	97.6	1.1	1.2
12月末	17,723	10.1	16,667	9.5	96.0	1.2	2.9
2020年1月末	17,785	10.5	16,715	9.8	97.4	1.3	1.4
2月末	15,970	△ 0.8	14,974	△ 1.6	93.7	1.2	5.3
3月末	13,778	△ 14.4	12,904	△ 15.2	92.2	2.8	5.7
4月末	14,933	△ 7.3	13,981	△ 8.1	92.4	2.1	5.4
5月末	15,532	△ 3.5	14,505	△ 4.7	95.2	1.7	3.2
6月末	15,704	△ 2.5	14,645	△ 3.8	94.5	1.7	3.7
7月末	15,688	△ 2.6	14,617	△ 4.0	94.8	2.3	2.9
8月末	17,242	7.1	16,033	5.3	86.1	11.1	2.5
(期末)2020年9月7日	17,102	6.2	15,891	4.4	95.8	1.6	2.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2019.9.10 ~ 2020.9.7)

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱懸念の後退などを受け、上昇基調となりました。2019年11月以降は、再度米中通商協議の進展期待が高まり、底堅い展開となりました。2020年1月以降は、米中通商協議の第1段階合意による米国の対中追加関税回避などを背景に、上昇しました。2月以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大や原油価格の急落などを受けて、大きく下落しました。3月下旬以降は、各国の大胆な景気刺激策やウイルス治療薬開発への期待などを好感し、上昇して当作成期末を迎えました。

### ■ 為替相場

為替相場は、円高米ドル安となりました。

米ドル円為替相場は、2019年10月以降、米中通商協議や英国のEU（欧州連合）離脱交渉の進展期待が高まる中で円安傾向となりました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから円高傾向となりました。その後一時上昇しましたが、米国の実質金利が低下したことや新型コロナウイルスの感染第2波への警戒に加えて、米中関係の悪化などから円高傾向となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

今後の運用にあたりましては、引き続き、「NYダウ・インデックス・マザーファンド」の受益証券をほぼ100%組み入れることで、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

### ■ NYダウ・インデックス・マザーファンド

今後の運用にあたりましては、引き続き、ベンチマーク（ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース））の動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

## ポートフォリオについて

(2019. 9. 10 ~ 2020. 9. 7)

### ■当ファンド

「NYダウ・インデックス・マザーファンド」の受益証券をほぼ100%組み入れました。

### ■NYダウ・インデックス・マザーファンド

米国株式を中心に、ダウ・ジョーンズ工業株価平均との連動をめざす先物・ETF（上場投資信託証券）も一部利用し、株式組入比率（ETF、株価指数先物を含む。）につきましては、当作成期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均の採用銘柄に投資を行うことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

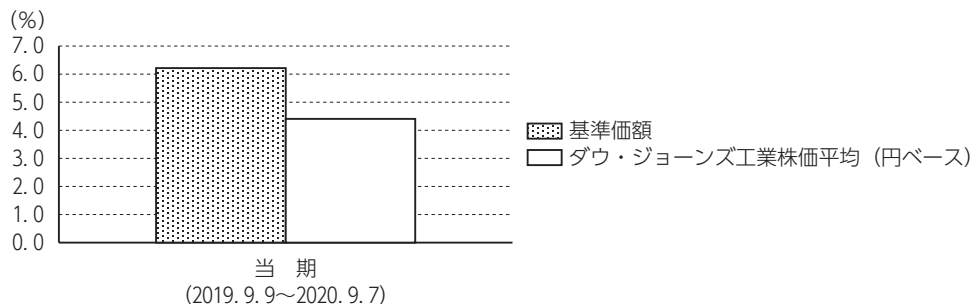
## ベンチマークとの差異について

ベンチマークの騰落率は4.4%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は6.2%となりました。

当ファンドが組み入れているマザーファンドには保有している株式等の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークには配当分が含まれていないため、かい離要因となりました。

その他、マザーファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異、運用管理費用、売買コスト等がかい離要因として挙げられます。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額とベンチマークとの騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2019年9月10日 ～2020年9月7日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	7,102

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■ 当ファンド

今後の運用にあたりましては、引き続き、「NYダウ・インデックス・マザーファンド」の受益証券をほぼ100%組み入れることで、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

### ■ NYダウ・インデックス・マザーファンド

今後の運用にあたりましては、引き続き、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 9. 10～2020. 9. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	40円	0. 246%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は16, 195円です。
(投 信 会 社)	(21)	(0. 131)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0. 087)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0. 011	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0. 007)	
(先物・オプション)	(0)	(0. 001)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0. 003)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 001	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 001)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0. 001)	
そ の 他 費 用	3	0. 016	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	44	0. 274	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

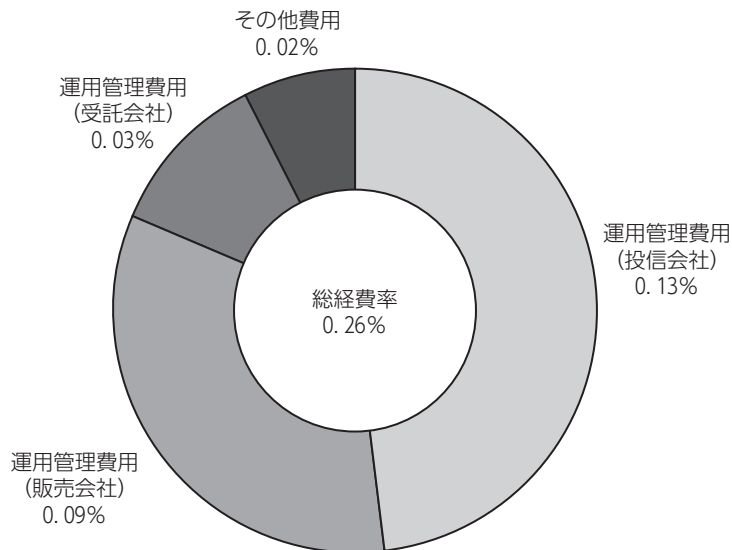
(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。



## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.26%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ■売買および取引の状況

## 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年9月10日から2020年9月7日まで)

項目	設 定		解 約	
	□ 数 千口	金 額 千円	□ 数 千口	金 額 千円
NYダウ・インデックス・マザーファンド	4,510,031	7,016,619	1,213,095	2,024,055

(注) 単位未満は切捨て。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年9月10日から2020年9月7日まで)

項 目	当 期
	NYダウ・インデックス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	13,826,483千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,304,146千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.96

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

## 親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	□ 数 千口	金 額 千円	評 価 額 千円	□ 数 千口	金 額 千円	評 価 額 千円
NYダウ・インデックス・マザーファンド	7,639,642	10,936,578	18,895,126			

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2020年9月7日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額 千円	比 率 %
NYダウ・インデックス・マザーファンド	18,895,126	99.3
コール・ローン等、その他	136,338	0.7
投資信託財産総額	19,031,465	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月7日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝106.36円です。

(注3) NYダウ・インデックス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(18,863,618千円)の投資信託財産総額(18,944,436千円)に対する比率は、99.6%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年9月7日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	19,031,465,903円
コール・ローン等	93,748,989
NYダウ・インデックス・マザーファンド(評価額)	18,895,126,914
未収入金	42,590,000
(B) 負債	132,856,705
未払解約金	112,075,757
未払信託報酬	20,328,462
その他未払費用	452,486
(C) 純資産総額(A-B)	18,898,609,198
元本	11,050,232,416
次期繰越損益金	7,848,376,782
(D) 受益権総口数	11,050,232,416口
1万口当り基準価額(C/D)	17,102円

\* 期首における元本額は7,698,224,398円、当作成期間中における追加設定元本額は8,828,097,080円、同解約元本額は5,476,089,062円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は17,102円です。

## ■損益の状況

当期 自 2019年9月10日 至 2020年9月7日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 27,641円</b>
受取利息	8,772
支払利息	△ 36,413
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>1,484,198,566</b>
売買益	1,788,272,992
売買損	△ 304,074,426
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 37,846,810</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>1,446,324,115</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>339,247,505</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>6,062,805,162</b>
(配当等相当額)	( 1,992,948,340)
(売買損益相当額)	( 4,069,856,822)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>7,848,376,782</b>
<b>次期繰越損益金 (G)</b>	<b>7,848,376,782</b>
追加信託差損益金	6,062,805,162
(配当等相当額)	( 1,992,948,340)
(売買損益相当額)	( 4,069,856,822)
分配準備積立金	1,785,599,261
繰越損益金	△ 27,641

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1,446,341,349
(c) 収益調整金	6,062,805,162
(d) 分配準備積立金	339,257,912
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	7,848,404,423
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	7,848,404,423
(h) 受益権総口数	11,050,232,416口

## 《お知らせ》

## ■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

# NYダウ・インデックス・マザーファンド

## 運用報告書 第4期 (決算日 2020年9月7日)

(作成対象期間 2019年9月10日～2020年9月7日)

NYダウ・インデックス・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

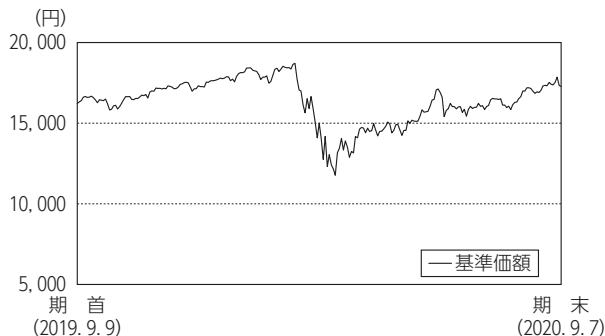
運用方針	投資成果をダウ・ジョーンズ工業株価平均（円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. 米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。） ロ. 米国の企業のDR（預託証券） ハ. 米国株式の指数との連動をめざすETF（上場投資信託証券）
株式組入制限	無制限

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円ベース)		株組比	式入率	株先比	式物率	投資信託受益証券組入比率
	円	騰落率	(ベンチマーク)	騰落率					
(期首)2019年9月9日	16,223	—	15,220	—	97.2	1.2	1.6		
9月末	16,394	1.1	15,371	1.0	97.8	0.8	1.4		
10月末	16,780	3.4	15,720	3.3	96.9	1.2	1.8		
11月末	17,539	8.1	16,387	7.7	97.7	1.1	1.2		
12月末	17,871	10.2	16,667	9.5	96.0	1.2	2.9		
2020年1月末	17,938	10.6	16,715	9.8	97.4	1.3	1.4		
2月末	16,110	△ 0.7	14,974	△ 1.6	93.7	1.2	5.3		
3月末	13,903	△ 14.3	12,904	△ 15.2	92.3	2.8	5.7		
4月末	15,072	△ 7.1	13,981	△ 8.1	92.4	2.1	5.4		
5月末	15,680	△ 3.3	14,505	△ 4.7	95.2	1.7	3.2		
6月末	15,857	△ 2.3	14,645	△ 3.8	94.5	1.7	3.7		
7月末	15,844	△ 2.3	14,617	△ 4.0	94.8	2.3	2.9		
8月末	17,417	7.4	16,033	5.3	86.1	11.1	2.5		
(期末)2020年9月7日	17,277	6.5	15,891	4.4	95.8	1.6	2.6		

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円ベース)は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：16,223円 期末：17,277円 騰落率：6.5%

【基準価額の主な変動要因】

ベンチマーク(ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円ベース))の動きをほぼ反映して、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、英国の合意なきEU(欧州連合)離脱懸念の後退などを受け、上昇基調となりました。2019年11月以降は、再度米中通商協議の進展期待が高まり、底堅い展開となりました。2020年1月以降は、米中通商協議の第1段階合意による米国の対中追加関税回避などを背景に、上昇しました。2月以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大や原油価格の急落などを受けて、大きく下落しました。3月下旬以降は、各国の大胆な景気刺激策やウイルス治療薬開発への期待などを好感し、上昇して当作成期末を迎えました。

○為替相場

為替相場は、円高米ドル安となりました。

米ドル円為替相場は、2019年10月以降、米中通商協議や英国のEU(欧州連合)離脱交渉の進展期待が高まる中で円安傾向となりました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が高まったことなどから円高傾向となりました。その後一時上昇しましたが、米国の実質金利が低下したことや新型コロナウイルスの感染第2波への警戒に加えて、米中関係の悪化などから円高傾向となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

今後の運用にあたりましても、引き続き、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

◆ポートフォリオについて

米国株式を中心に、ダウ・ジョーンズ工業株価平均との連動をめざす先物・ETF(上場投資信託証券)も一部利用し、株式組入比率(ETF、株価指数先物を含む)につきましては、当作成期を通じておおむね100%程度の水準を維持しました。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均の採用銘柄に投資を行うことで米国株式のポートフォリオを構築し、ファンドの資産規模や資金動向、売買コストの抑制等を勘案しながら、基準価額とベンチマークとの連動性を維持・向上させるよう運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

ベンチマークの騰落率は4.4%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は6.5%となりました。

ファンドには保有している株式等の配当金が計上されたのに対して、ベンチマークには配当分が含まれていないため、かい離要因となりました。

その他、ファンドで組み入れているポートフォリオの騰落率とベンチマークの騰落率との差異や売買コスト等がかい離要因として挙げられます。

《今後の運用方針》

今後の運用にあたりましても、引き続き、ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行ってまいります。

# NYダウ・インデックス・マザーファンド

## ■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション) (投資信託受益証券)	2円 ( 1) ( 0) ( 0)
有価証券取引税 (株式) (投資信託受益証券)	0 ( 0) ( 0)
その他費用 (保管費用) (その他)	2 ( 2) ( 0)
合 計	4

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

## ■ 売買および取引の状況

### (1) 株 式

(2019年9月10日から2020年9月7日まで)

外 国	アメリカ	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
		百株 6,085.2 ( 801.9)	千アメリカ・ドル 87,559 ( ー)	百株 3,494.1	千アメリカ・ドル 42,270

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## ■ 主要な売買銘柄

### (1) 株 式

(2019年9月10日から2020年9月7日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	当 期		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
SALESFORCE.COM INC (アメリカ)	39.81	1,140,575	28,650	APPLE INC (アメリカ)	32.27	1,697,294	52,596
AMGEN INC (アメリカ)	39.81	1,064,839	26,748	RAYTHEON TECHNOLOGIES CORP (アメリカ)	41.23	270,320	6,556
HONEYWELL INTERNATIONAL INC (アメリカ)	39.81	708,687	17,801	UNITEDHEALTH GROUP INC (アメリカ)	5.39	178,518	33,120
UNITEDHEALTH GROUP INC (アメリカ)	16.7	500,892	29,993	EXXON MOBIL CORP (アメリカ)	41.23	176,709	4,285
APPLE INC (アメリカ)	16.7	446,147	26,715	PFIZER INC (アメリカ)	41.23	164,633	3,993
HOME DEPOT INC (アメリカ)	16.7	415,490	24,879	HOME DEPOT INC (アメリカ)	5.39	162,572	30,161
GOLDMAN SACHS GROUP INC (アメリカ)	16.7	342,056	20,482	MICROSOFT CORP (アメリカ)	5.39	129,987	24,116
MCDONALD'S CORP (アメリカ)	16.7	341,520	20,450	VISA INC-CLASS A SHARES (アメリカ)	5.39	122,491	22,725
BOEING CO/THE (アメリカ)	16.7	339,584	20,334	MCDONALD'S CORP (アメリカ)	5.39	122,036	22,641
VISA INC-CLASS A SHARES (アメリカ)	16.7	334,323	20,019	GOLDMAN SACHS GROUP INC (アメリカ)	5.39	117,948	21,882

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## (2) 投資信託受益証券

(2019年9月10日から2020年9月7日まで)

外 国	アメリカ	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口 201.26 ( ー)	千アメリカ・ドル 50,715 ( ー)	千口 191.81 ( ー)	千アメリカ・ドル 48,000 ( ー)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付( )内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

## (3) 先物取引の種類別取引状況

(2019年9月10日から2020年9月7日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国 株式先物取引	百万円 4,812	百万円 4,694	百万円 ー	百万円 ー

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(2) 投資信託受益証券

(2019年9月10日から2020年9月7日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
SPDR DJIA TRUST (アメリカ)	201.26	5,483,573	27,246	SPDR DJIA TRUST (アメリカ)	191.81	5,172,901	26,968

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	株数	期首	当期		業種等		
			株数	株数		評価額	
						外貨建金額	邦貨換算金額
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円			
(アメリカ)							
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	—	398.1	6,635	705,797	資本財・サービス		
APPLE INC	285	398.1	4,815	512,167	情報技術		
BOEING CO/THE	285	398.1	6,809	724,258	資本財・サービス		
VERIZON COMMUNICATIONS INC	285	398.1	2,407	256,083	コミュニケーション・サービス		
JPMORGAN CHASE & CO	285	398.1	4,121	438,323	金融		
CATERPILLAR INC	285	398.1	5,899	627,422	資本財・サービス		
CISCO SYSTEMS INC	285	398.1	1,625	172,839	情報技術		
COCA-COLA CO/THE	285	398.1	2,031	216,113	生活必需品		
EXXON MOBIL CORP	285	—	—	—	エネルギー		
GOLDMAN SACHS GROUP INC	285	398.1	8,397	893,160	金融		
HOME DEPOT INC	285	398.1	10,735	1,141,792	一般消費財・サービス		
INTL BUSINESS MACHINES CORP	285	398.1	4,868	517,841	情報技術		
JOHNSON & JOHNSON	285	398.1	5,915	629,158	ヘルスケア		
MCDONALD'S CORP	285	398.1	8,428	896,505	一般消費財・サービス		
3M CO	285	398.1	6,599	701,901	資本財・サービス		
MERCK & CO. INC.	285	398.1	3,393	360,922	ヘルスケア		
NIKE INC -CL B	285	398.1	4,474	475,923	一般消費財・サービス		
PFIZER INC	285	—	—	—	ヘルスケア		
DOW INC	285	398.1	1,934	205,781	素材		
PROCTER & GAMBLE CO/THE	285	398.1	5,492	584,149	生活必需品		
CHEVRON CORP	285	398.1	3,261	346,907	エネルギー		
TRAVELERS COS INC/THE	285	398.1	4,640	493,579	金融		
SALESFORCE.COM INC	—	398.1	10,139	1,078,448	情報技術		
RAYTHEON TECHNOLOGIES CORP	285	—	—	—	資本財・サービス		
UNITEDHEALTH GROUP INC	285	398.1	12,420	1,321,067	ヘルスケア		
WALT DISNEY CO/THE	285	398.1	5,254	558,870	コミュニケーション・サービス		
WALMART INC	285	398.1	5,686	604,769	生活必需品		
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	285	398.1	1,468	156,199	生活必需品		
VISA INC-CLASS A SHARES	285	398.1	8,147	866,569	情報技術		
AMERICAN EXPRESS CO	285	398.1	4,206	447,427	金融		
AMGEN INC	—	398.1	9,888	1,051,773	ヘルスケア		
INTEL CORP	285	398.1	1,993	212,048	情報技術		
MICROSOFT CORP	285	398.1	8,529	907,175	情報技術		
ファンド合計	株数、金額	8,550	11,943	170,223	18,104,979		
	銘柄数 < 比率 >	30銘柄	30銘柄		< 95.8% >		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

# NYダウ・インデックス・マザーファンド

## (2) 外国投資信託受益証券

銘柄	期首 口数	当期 口数	期末 評価額	
			外貨建金額 千アメリカ・ドル	邦貨換算金額 千円
(アメリカ) SPDR DJIA TRUST	千口 7	千口 16.45	4,635	492,990
合計	口数、金額 銘柄数 < 比率 > 1銘柄	16.45 1銘柄	4,635	492,990 <2.6%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## (3) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当期末	
	買建額 百万円	売建額 百万円
外国 DJIA MINI E-CBOT (アメリカ)	298	—

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年9月7日現在

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>18,976,454,064円</b>
コール・ローン等	135,605,968
株式 (評価額)	18,104,979,862
投資信託受益証券 (評価額)	492,990,991
未収入金	64,367,438
未収配当金	51,310,714
差入委託証拠金	127,199,091
<b>(B) 負債</b>	<b>80,817,264</b>
未払金	38,226,592
未払解約金	42,590,000
その他未払費用	672
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>18,895,636,800</b>
元本	10,936,578,639
次期繰越損益金	7,959,058,161
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>10,936,578,639口</b>
<b>1万口当り基準価額 (C / D)</b>	<b>17,277円</b>

\* 期首における元本額は7,639,642,986円、当作成期間中における追加設定元本額は4,510,031,532円、同解約元本額は1,213,095,879円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、iFree NYダウ・インデックス10,936,578,639円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は17,277円です。

## ■投資信託財産の構成

2020年9月7日現在

項目	当期末	
	評価額 千円	比率 %
株式	18,104,979	95.6
投資信託受益証券	492,990	2.6
コール・ローン等、その他	346,465	1.8
投資信託財産総額	18,944,436	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月7日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル = 106.36円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (18,863,618千円) の投資信託財産総額 (18,944,436千円) に対する比率は、99.6%です。



## ■損益の状況

当期 自 2019年9月10日 至 2020年9月7日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	317,127,083円
受取配当金	316,705,595
受取利息	369,636
その他収益金	121,186
支払利息	△ 69,334
(B) 有価証券売買損益	1,166,063,995
売買益	2,885,662,682
売買損	△ 1,719,598,687
(C) 先物取引等損益	27,928,753
取引益	167,344,218
取引損	△ 139,415,465
(D) その他費用	△ 1,609,392
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	1,509,510,439
(F) 前期繰越損益金	4,753,919,375
(G) 解約差損益金	△ 810,959,121
(H) 追加信託差損益金	2,506,587,468
(I) 合計 (E + F + G + H)	7,959,058,161
次期繰越損益金 (I)	7,959,058,161

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (以下「当インデックス」といいます。)はS&P Dow Jones Indices LLC (「S P D J I」)の商品であり、これを利用するライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's<sup>®</sup>およびS & P<sup>®</sup>はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S & P」)の登録商標で、Dow Jones<sup>®</sup>はDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」)の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがS P D J Iに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが大和アセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。